

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/09/16号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

利下げを前にしてゴールド歴史的な高値更新！

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



ゴールドはジャクソンホールでパウエル議長が金利下げへの政策転換を明確にした8月20日につけた歴史的な高値2531.60ドルをとうとう12日木曜日に超えました。8月20日以降の約2週間は利食い売りを消化する形での2470-2530ドルレンジでのみ合いが続きましたが、そのレンジを天井であった歴史的な高値2531ドルを超えることでブレイクし、13日金曜日にはさらに大きく上進、新しい歴史的な高値は2586ドルとなりました。FOMCが直前にせまり、週内に発表された経済指標も雇用の減速、インフレの低下を示す結果のものがほとんどとなり、金曜日引けの時点ではFedWatchでの利下げ幅の確率も50bpが大きく上昇し、25bpの利下げ幅と並び50:50となり利下げ幅が大きくなるという見方が50%まで上昇、これもゴールドの買いに拍車をかけました。過去のFRBの利下げ期におけるゴールドの上昇は顕著であり、2000年以降これまでの3回の利下げではすべてゴールドは大きく上昇しています。5%を超えるレベルからの利下げは2001年と2007年ですが、ともにゴールドの上昇は利上げの始まりから終わりまでのほぼ2年間、金利下げ幅が合計でほぼ5%でゴールドは30%以上の上昇を記録しています。今回の利下げがそこまで行かないにしても今後1~2年でゴールドが3000ドルを超える可能性は非常に高いと考えます。今週の利下げが25bpであった場合は逆に失望感からの売りが出てくる可能性があります。えそうだったとしてもそれは一時的な状況であり、利下げサイクルの始まりとすればゴールドの上昇は必至。そういう状況で下げたとしたら絶好のディップと考えるべきでしょう。FRBに先だってECBやBOE、BOC、SNCほかの中央銀行はすでに利下げを行っており、歴史的な高値もユーロや英ポンドでは一足先に記録しています。そういった意味では日本だけが利上げという世界と逆行した動きによる円高で歴史的な高値からは離れた状況になっています。円建てゴールドは円高とドル建てゴールドの上昇の間でのせめぎ合いがしばらく続くでしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

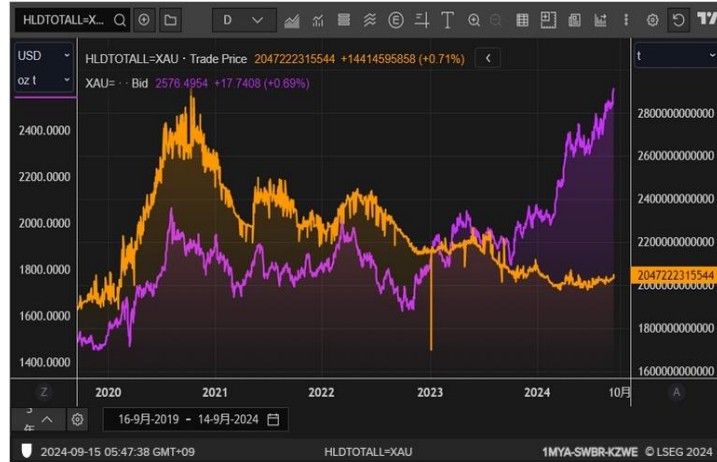
「シルバーの現状」

シルバーもゴールドの歴史的な高値更新とともに久しぶりに30ドルを突破しました。上昇率としてはゴールドを超えています。問題はこの30ドル超えのレベルを維持できるかどうか。今年は5月、そして7月に30ドルを超える期間がありましたが、いずれもその維持に失敗。しかし利下げで今回はそれも変わりそうです。

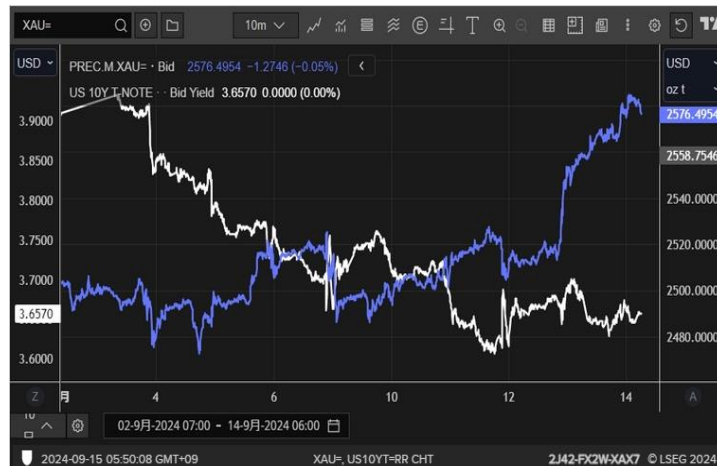


「プラチナの現状」

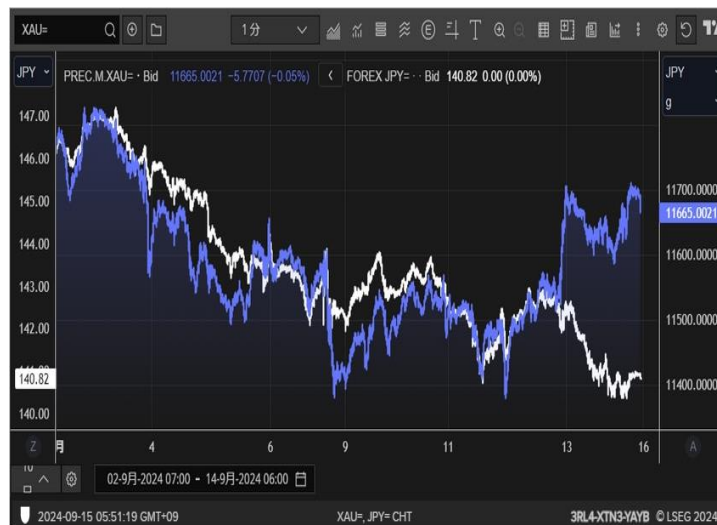
ゴールドと比べるとプラチナは相変わらず遅れをとっていますが、前週はそれでも1000ドルまで上昇してきました。シルバーの30ドルを同様にこの1000ドル超えのレベルで安定できるかどうかはプラチナのポイント。ゴールドの上昇だけが現在の材料でありなかなか厳しいというのが現実でしょう。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで